

2019(H31・R1)年度 集団検診報告

2月12日本年度最後の集団検診が学区集会所で行われ、特定検診(広島元気じゃ健診)25名、肺がん検診23名、大腸がん検診19名が受診されました。

雨天の中早くから来所され一時は並んでいただく列が玄関まで長くなりましたが、手早い受付によりスムーズにながれました。車で来所された方もかなりおられました。

この結果 2019年度は

- ・特定健診 61名の受診(昨年比較-4名)
- ・肺がん検診 56名の受診(昨年比較-17名)
- ・胃がん検診 7名の受診(昨年比較-20名)
- ・大腸がん検診 48名の受診(昨年比較-1名)
- ・乳がん検診 39名の受診(昨年比較+8名)
- ・子宮がん検診 27名の受診(昨年比較+8名)
- ・被爆者健診 59名の受診(昨年比較-5名)
- ・被爆者肺がん検診 40名の受診(昨年比較-8名)
- ・被爆者胃がん検診 10名の受診(昨年比較+5名)
- ・被爆者大腸がん検診 25名の受診(昨年比較+3名)

という結果でした。

胃がん検診が大幅に減少していますが、胃カメラに移行された方が多いのでは推測しています。

次年度も集団検診予定 表を配布したり案内チラシを配布したりしたいと思います。
年間の検診計画を立てて体調管理の役に立ててください。



(2020/02/15 毘沙門台学区公衆衛生競技会会長 速山 健)